

指定管理者からの令和6年度事業報告概要

施設名	岡山県ボランティア・NPO活動支援センター
施設所在地	岡山県岡山市北区南方2丁目13番1号

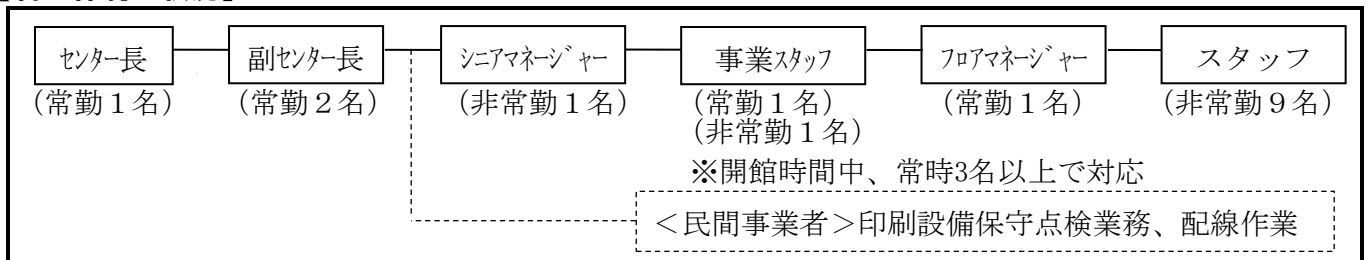
【指定管理者の概要】

名 称	岡山県ボランティア・NPO活動支援センター管理運営共同体	代表者	足羽 憲治
所在地	岡山県岡山市北区南方2丁目13番1号		

【指定管理の概要】

指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	報告期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
管理業務の内容	・センターの施設及び設備の利用の許可に関する業務 ・施設等の利用料金の設定及び収納に関する業務 ・施設等の維持管理に関する業務 ・センター運営に関する業務		

【管理体制の状況】



【利用等の許可の状況】

(単位：件)

		研修室・会議室等	貸事務所	附属設備	合 計
許可 件数	6年度	3,020	10	1,030	4,060
	5年度	3,024	10	856	3,890
	増 減	△ 4	0	174	170

【維持管理の業務の実施の状況】

項 目	内 容
施設管理運営	・オープンスペース（相談・情報・交流・作業・保管）：利用人数12,031人 ・研修室、会議室：利用人数27,584人
専門相談事業	会計、経営、労務、法律の専門家による相談（相談件数：22件）
コーディネーター支援事業	NPOを支援する組織・団体へのヒアリングの実施及び活動支援に係る情報の提供、スタッフ対象の研修会の開催 [主な内容] NPO支援組織との情報交換会、NPOの支援方法等を学ぶ研修会
人材育成交流事業	ボランティア・NPOのリーダーやスタッフ等を対象にした組織マネジメント等の研修会及び各団体の課題共有・情報交換を行う交流会の開催 (参加者：研修会 合計75名、交流会14名)
活動情報発信事業	ボランティア・NPO活動情報誌「ボランピオ」 年4回ホームページに掲載
自主企画事業	・「ボランティア入門講座」及び「NPO法人設立入門講座」の開催 ・ボランティアに興味がある人とボランティア募集中の団体をつなぐ「ボランティア・マッチング会」の開催 ・高校生ボランティア・アワード、子どもボランティア体験プログラムの実施等

【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、件)

	研修室・会議室等	貸事務所	附属設備	合 計
収 入 額	4,180,280	2,205,000	1,330,640	7,715,920
利用件数	3,020	10	1,030	4,060
減 免 額	0	0	0	0
減免理由				

指定管理者からの令和6年度事業報告概要

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		6年度	対前年度増減額	5年度	備 考
収 入 額 A		33,904,539	△ 113,851	34,018,390	6年度収入額 ・指定管理料のうち賃金及び物価の上昇に応じた増額分 232,619円 (財源は全額国庫) ・その他の主なもの 預金利息 1,000円
内 訳	指定管理料	26,187,619	232,619	25,955,000	
	利用料金収入	7,715,920	△ 347,450	8,063,370	
	事業収入	0	0	0	
	その他	1,000	980	20	
支 出 額 B		33,904,539	△ 113,683	34,018,222	
内 訳	人件費	25,110,000	0	25,110,000	
	管理運営費	4,308,392	△ 57,210	4,365,602	
	事業費	4,486,147	△ 56,473	4,542,620	
	その他	0	0	0	
収 支 額 A－B		0	△ 168	168	
県への納入金		0	0	0	
実質的な県負担額		25,955,000	0	25,955,000	

【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目		区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理運営状況	①適切な施設管理の履行	B	協定及び事業計画に沿った適切な管理が履行されていた。
	②法令等の遵守状況	B	関係法令に基づく義務は適切に履行されていた。
	③安全性の確保	B	安全管理マニュアル及び危機管理体制の整備など安全性を確保した管理が履行されていた。
	④財産の適切な管理	B	施設・設備の破損、紛失はなく、修繕は適切に実施され、適切な管理が履行されていた。
導入効果	①利用状況	B	会議室及びオープンスペースの利用人数は前年度比108人増となり、コロナ禍前の状況までは戻っていないものの、回復傾向にある。 【利用者数】 R6：39,615人 ← R5:39,507人 ＜参考＞R元（コロナ禍前）：48,782人
	②収支状況	B	貸事務所の空室の増等により、利用料金収入が前年度比347千円の減収となったが、計画された事業は適切に実施された。
	③サービス向上	B	利用者アンケート等により利用者の意見や要望を把握し、改善できるものは改善するなど適切な対応がなされた。また、有識者等からなる運営委員会の開催により、管理面、事業面での質的向上につなげた。
管理運営業務全般		B	協定及び事業計画等に基づき、適切に管理運営業務が実施されるとともに、サービス向上の取組が継続的に行われていた。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。

B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。

D：予定していた業務水準を下回った。